

編集後記

福岡市で開催された第27回日本リハビリテーション医学会も盛會裡に幕を閉じ、これから本格的な夏を迎えようとしていますが、読者の皆様方は早くも来年の学会へ向けて新たな研究のスタートを切られたことと思います。弊誌も皆様の学究心に少しでも応え得る内容とすべく、来年度の新企画に着手しました。今回は特に編集同人をはじめ40名以上の方々にアンケートをお願いし、特集や講座、その他の連載欄に関して多くの貴重な御意見をお寄せいただきました。皆様の「声」はどんどん誌面に反映させ、さらに内容の充実を図っていきたいと考えております。なお一層の御指導、御鞭撻をお願い申し上げます。

さて、今月は「社会リハビリテーションの新しい動き」と題し、現時点での社会リハビリテーションの動きと新たな問題点を浮き彫りにしてみました。小島氏には歴史的な流れの中で国際的な動向を、また定藤氏にはアメリカで起こった自立生活運動の社会リハビリテーションにおける意義と役割をQOLとの関連の中で言及いただきました。そして今後対応が迫られるであろう内部障害者、特に腎機能障害者の問題を小林氏に、精神障害者に関しては特に生活技能訓練に焦点を絞り、その基本的特徴とアメリカにおける動向、また我が国における可能性と課題を熊谷氏らに解説してい

ただきました。最後に、調氏には年金制度に絡めて障害者の所得保障の問題を論じていただきましたが、総じて言えることは、社会リハビリテーションは障害者およびその家族と国、地方自治体などの行政サイドが連携してシステムを構築し、その中に医療や教育、企業がいかにかに有機的に参入していくかが大きな鍵となるようです。

また、今月から講座は「運動負荷の基礎医学」に、実践講座は「障害者と共に生きる環境づくり」へと内容を一新しました。講座では運動負荷が身体に及ぼす影響を基礎医学の領域から解説していただき、実践講座では障害者の生活環境づくりを、設計図、写真等を駆使して視覚的に構成しています。両講座ともリハビリテーション関係者にとって非常に役立つ必須の知識と思われれます。御期待ください。

「ひと」では昨年度の高木賞、飯田賞を受賞された高橋純氏、初山泰弘氏を紹介しました。両氏のこれまでの御努力に対し、受賞に心から拍手を贈りたいと思います。

投稿論文は4題掲載できました。それぞれ大変な力作です。ただ、掲載までかなりの日時を要するようになりました。少なくとも半年程度で掲載できるよう、早急の対策を立てる所存でおります。もう少々時間を賜われればと存じます。

(編集室)

編集顧問

天 児 民 和
大 島 良 雄
河 邨 文 一 郎
五 味 重 春
津 山 直 一
土 屋 弘 吉

編集委員

明 石 謙
上 田 敏
緒 方 甫
大 井 淑 雄
大 川 嗣 雄
千 野 直 一
横 山 巖

編集同人

今 田 拓
江 口 壽 榮 夫
小 川 孟
荻 島 秀 男
奥 川 幸 子
加 倉 井 周 一
小 島 蓉 子
斉 藤 正 也
笹 沼 澄 子
澤 村 誠 志
高 橋 勇
高 松 鶴 吉
武 智 秀 夫
土 屋 和 夫
土 肥 信 之
土 肥 豊
永 井 昌 夫
中 村 隆 一
野 島 元 雄
野 村 歡
初 山 泰 弘
福 井 罔 彦
福 田 道 隆
松 村 秩
三 島 博 信
村 上 恵 一
矢 谷 令 子
米 本 恭 三
渡 辺 英 夫
(五十音順)

総合リハビリテーション (第18巻 第7号)

1990年7月10日発行(毎月1回10日発行)

1部定価 1,803円(本体1,750円)
(配送料61円)

(年ぎめ予約購読料 20,640円)
(本体20,039円)(送料弊社負担)

発 行 株式会社 医学書院

代 表 者 金 原 優

〒113-91 東京都文京区本郷5-24-3

電話 社内案内 (03) 817-5600

本誌編集室直通 (03) 817-5704

(担当: 佐々木・細田)

販売部直通 (03) 817-5659・5660

ファクシミリ (03) 815-7802

振替口座 東京 7-96693番

印刷所 三報社印刷(株): 電話 (03) 637-0005

広告申込所 (株)東広社: 電話 (03) 409-8803

Published by IGAKU-SHOIN Ltd. 5-24-3 Hongo, Bunkyo-ku Tokyo © 1990, Printed in Japan.

本誌の内容を無断で複写・複製・転載すると、著作権・出版権の侵害となることがありますので御注意下さい。